

北保育園建設だより

No.14

大口町立北保育園（H28.6.7）

解体工事

旧園舎の解体工事が進んでいます。遊戯室、ぽんぽこルーム、トイレ、二つの保育室が解体されました。仮園庭に行くと、工事の様子がよくわかり、子ども達は解体された跡を見て「遊戯室なくなっちゃたね～」と寂しがったり、何台もの大きな重機に「すご～い！」と喜んだりびっくりしていました。



仮園庭で工事の様子を見る子ども達

仮園舎

新園舎



更地になった旧園舎跡



解体される遊戯室

ステキな回廊

回廊はその時々で、ステキな空間になります。広がってみんなで体操したり、体を動かして遊べます。時には、お母さん達の話し合いの場にもなっています。花を飾るとおしゃれなギャラリーみたいで、心が癒されたり和んだりします。

保育室とは違った空間で、これからいろいろな人・物・ことが集う場となっていくといいです。



広がって体操したよ



くま歩きで体力作り



癒しの空間



「どんぐりカフェ」オープン!

広い回廊に机と椅子を出してみると、なんだかおしゃれなカフェのようです。心地よい風が入ってくる中、カフェランチ気分で給食を食べました。子ども達も「カフェランチ!」「カフェランチ!」と

口々に言っは、いつもと違った雰囲気を楽しんでいました。回廊カフェは子ども達と話し合っ「どんぐりカフェ」と命名しました。

今後は年少児も未満児もカフェランチを経験できるように計画していきたいと思っています。お楽しみに!



* 「どんぐりカフェ」の命名由来

- ①年中・年長児が使用している机と椅子の足は、「コナラ」というどんぐりの実ができる木で作られている。(愛知県産。天板はスギの木使用)
- ②ヨーロッパではどんぐりは病魔から守ってくれ、長生きや健康のお守りとされている。
- ③イギリスのことわざ『樾の大樹も小さなどんぐりから』
「小さな実から大木になる」という意味で、どんぐりは希望や可能性のシンボルとされている。
ことわざのように子ども達もいろんな意味(食・経験)で、大きく成長して欲しい。
- ④どんぐりは、子ども達に身近で触れる機会もあり、馴染みがある。



園庭開放

5月11日(水)と26日(木)の園庭開放には、大勢の親子がみえました。園舎に入るなり、「木のいい香りがしますね。落ち着きます。」と木造園舎に癒されたり、遊戯室の高い天井に「開放感がありますね。」とびっくりしてみえる方もいました。親子での園内巡りではみなさん興味津々に見学し、新しい園舎が完成することをとても楽しみにしている様子でした。みなさん、遊びに来てくださいね。



年長児との交流



新園舎見学

